

令和元年11月21日
海上幕僚監部

(お知らせ)

日米英3か国海軍種参謀長級協議について

海上幕僚長 山村浩海将は、11月20日、米国において米海軍作戦部長 ギルデイ大将及び英第1海軍卿 ラダキン大将とともに日米英3か国海軍種参謀長級協議を実施しました。

日米英3か国海軍種参謀長級による協議は、今回2回目の試みであり、安全保障環境の改善のために、海上自衛隊、米海軍及び英海軍が、インド太平洋を含む地域におけるプレゼンスの強化を通じて海洋秩序を維持するとともに、日米英海軍種が、国際社会をリードする役割を果たすため、どのような協力を深化できるかについて、率直かつ広範な意見交換を実施し、以下の共同声明を発出しました。

共同声明

我々は、継続的な前方プレゼンスを維持し、肯定的な影響力を維持し、より幅広い平和と安定に寄与しつつ、いかなる場所においても我々の利益を保護及び促進しなければならないグローバルな責任と利益を有している。これは、インド太平洋地域の安全保障を含む多様な課題に対する対応可能性を含む。

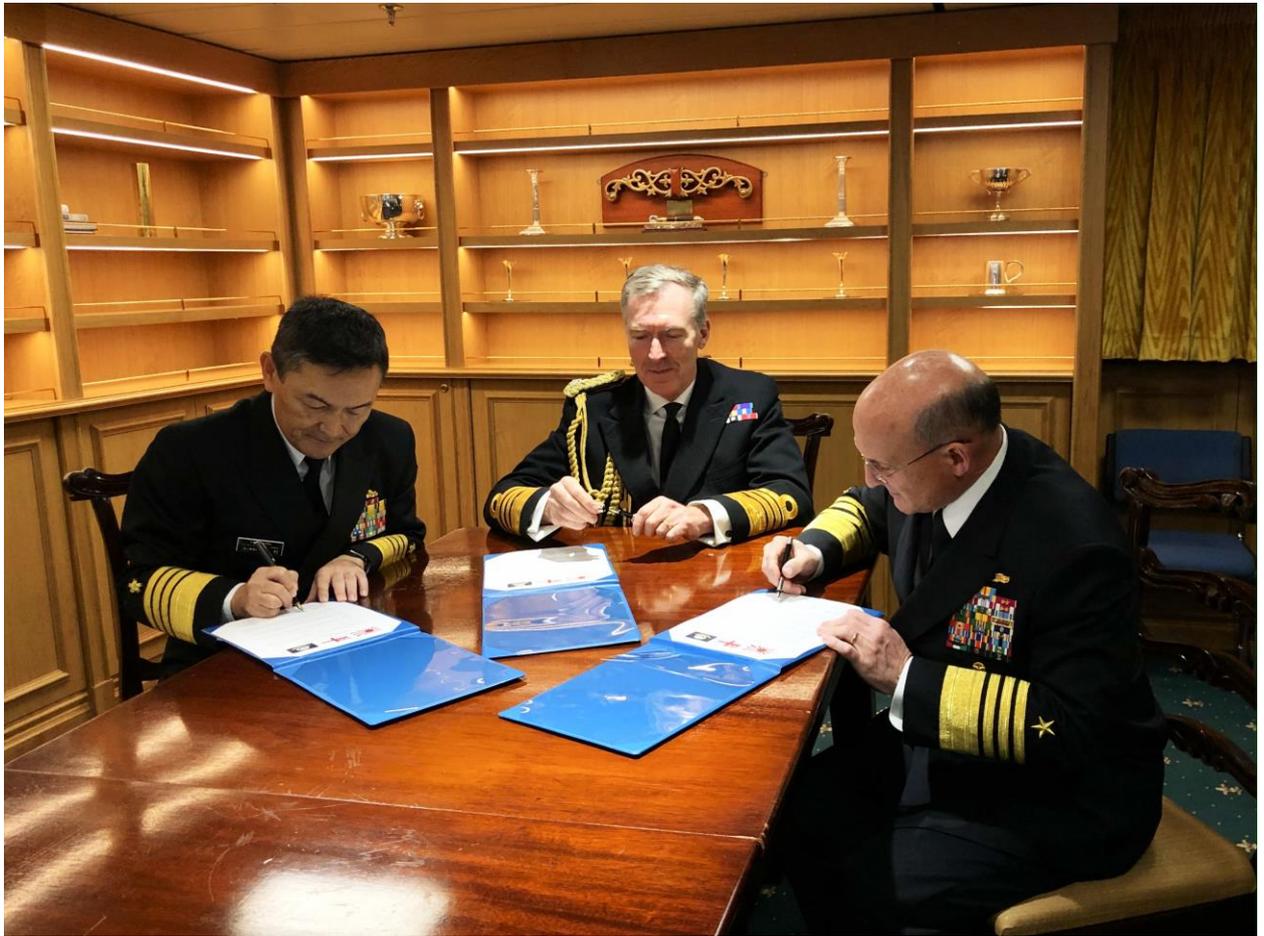
一国のみでこの負担を負うことはできない。国際的なルールに基づくシステムを遵守する国々は、海洋における良好な秩序を維持することを一層望んでいる。

我々は、海賊、海洋汚染、武器及び薬物の違法な取引、人身売買並びに航行の自由を制限しようとする試みというグローバルな経済システムに不可欠な貿易の基盤に対する課題に取り組むため、共に努力する。

日本の海上自衛隊、英海軍及び米海軍は、外交関係を下支えし、善なる力として地域のパートナー国及び同盟国に高く評価されている永続的な海軍種のプレゼンスを維持する。我々は、諸外国が、地域諸国との協力において、世界の舞台で責任ある役割を果たすよう促す。

我々は、この広大な海洋空間における共通利益及びここで生活し労働する人々を守ることに對するコミットメントを再確認する。そして、この目的を達成するため、共通の意思の下、多数国間での情報共有に関する解決策を追求するとの認識が一致した。我々は、協働する時に最善の成果を出せることを明らかにしており、国際社会を主導する役割を果たすために協力を深化させていく。

海上幕僚長	海将	山村 浩
英第1海軍卿	大将	トニー・ラダキン
米海軍作戦部長	大将	マイケル・ギルデイ



共同声明への署名（左：山村海将、中央：ラダキン大将、右：ギルデイ大将）



英艦艇「クイーン・エリザベス」艦上（左：ラダキン大将、中央：山村海将、右：ギルデイ大将）